

会議名	第 24 回 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
開催日時	令和 5 年 11 月 28 日 (火) 午後 2 時 00 分 ～ 午後 4 時 00 分
会場	新潟市生涯学習センター 4 階 402 会議室
出席委員	<p>【委員】 中村 美香 (特定非営利活動法人まちづくり学校 事業推進部コーディネーター) ※会長          岩佐 明彦 (法政大学 デザイン工学部)          西垣 勝 (新潟日報社 企画総務局次長兼資産管理運営企画部長)          高松 智子 (ユニバーサルカラープランナー協会 会長)          高橋 邦夫 (特定非営利活動法人地域インフラ研究会 理事長)          小沢 謙一 (新潟商工会議所 理事・事業部長)          田中 雅史 (新潟市中央区自治協議会 委員)          内田 剛二 (国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 事務所長)          佐久間 なおみ (新潟市中央区 区長)</p> <p>【事業主体】 株式会社 スノーピーク          【事務局】 市まちづくり推進課、国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所</p>
主な議事内容	<p>(1) 右岸の実施状況について          スノーピークより報告がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売り上げは約 9,900 万円 (前年比 101%)、来場者数は約 34,000 人 (前年比 91%) であった。</li> <li>・猛暑の影響で来場者数は前年より減少したが、コロナ 5 類移行により団体客 (コース利用客) が増えたことで客単価が増加した。</li> </ul> <p>&lt; 委員からの主な質問・意見 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猛暑の影響で、来場者数が減少したとのことだが、例えば、夜の営業時間の延長や 10 月くらいまで営業するなど検討されたい。          → 夜 10 時以降は公園が使用できない。9 月下旬になると夜は冷え込んでくるため営業に適しているか検討が必要。また、10 月は社内での備品の調整があり、現状は営業していない。</li> <li>→ 10 月上旬には、新潟マラソンや食花マルシェ、古町どんどんなど各地でイベントが開催されるので 10 月までの延長は検討していきたい (事務局)。</li> <li>・ SNS のフォロワー数は増えているが、発信回数は減っている。情報はどんどん発信されたほうが良い。また、来年もインバウンド客が増えると思われるので、外国語発信などより力を入れたほうがよい。</li> <li>・ 一店舗当たり月 500 万円の売り上げというのはすごいことだと感じているし期待している。中央区の自治協でも情報を発信していただくなど活用いただきたい。</li> </ul>

(2) 右岸・左岸の取組報告について、取組成果の分析と総括事務局(新潟市)より説明がありました。

- ・左岸の取り組みについて引き続き来年度も継続する。
- ・右岸(水辺アウトドアラウンジ)についても、より一層の利活用が進んでいくことを期待する。

<委員からの主な質問・意見>

- ・左岸の取り組みについて、「公園区域を使う場合、別途協議となっていることが利活用の障壁となっている」とのことだが、対応を検討されたい。
- ・アンケート結果で「居心地の良さ」の評価が高いが、例えば「昼と夜の別」や「なぜ居心地が良いと感じるのか」が分かると今後の事業に繋がっていくのではないか。
- ・今年度の新規出店者が0(ゼロ)だったことからマンネリ化が懸念される。広く出店者募集をするなどブレイクスルーが必要と感じる。

(3) 今後のスケジュール

事務局(新潟市)より説明がありました。

- ・次回会議では、令和6年度事業計画の報告を予定。  
(令和6年4月開催予定)